

* 国立新美術館
「旅展」—異文化との
出会い、そして対話
～1月28日



* 江戸東京博物館
～1月27日
：北斎—ヨーロッパを
魅了した江戸の絵師

ヨーロッパ絵画に大きな影響を与えた葛飾北斎。オランダ国立民族学博物館所蔵の40点を中心に日本初公開作品を展示。

* 国立科学博物館 ～1月27日
：大ロボット博—からくりからアニメ、最新ロボットまで

* 東京都美術館 1月～3月
：公募展 日書展、国際水墨画展など

* 損保ジャパン東郷青児美術館 ～2月17日
東郷青児美術館大賞受賞記念 小杉小二郎展

* サントリー美術館 ～1月14日
：和モード日本女性、華やぎの装い展

* 東京国立博物館 ～2月24日
：特別展 「宮廷のみやび—近衛家1000年の名宝」

* 東京都写真美術館 ～2月20日
：日本の新進作家VOL・6 スティール/アライブ

* 森アートセンターギャラリー ～1月20日
：ウルトラマン大博覧会—ROPPONGI天空大作戦

* ブリヂストン美術館 ～1月27日
ブリヂストン美術館コレクション展
近代から現代までの絵画・彫刻160点を展示

* 出光美術館 ～2月17日
：王朝の恋—描かれた伊勢物語 平安時代のある貴公子の波乱に満ちた恋物語の数々にせまる。

* BunKamura ザ・ミュージアム 1月20日
まで 故郷スイスの村のぬくもり アンカー展

* 大田記念美術館 浮世絵新春風景 ～1月26日

* 新橋演舞場 ～27日
成田山開基1070年記念 「雷神不動北山桜」
市川海老蔵五役相勤め申し候

* 歌舞伎座 ～1月26日
昼「猩々」梅玉、染五郎「一條大蔵譚」吉右衛門
福助「けいせい浜真砂」雀右衛門、吉右衛門
「魚屋宗五郎」幸四郎、染五郎、「お祭り」団十郎
夜「鶴寿千歳」富十郎、錦之助「連獅子」染五郎、
幸四郎「助六由縁江戸桜」団十郎、梅玉、孝太郎

スタッフ紹介 調理 木原 積(つもる)



広島県出身、56歳、うお座

小、中学校では野球に憧れ、捕手を務める。高校野球の名門広陵高に合格するも家庭の事情でやむなく断念、調理人なら食いはぐれは無いだろうとの軽い気持ちでこの道に、どっかい苦勞の連続で忍耐と我慢の世界に。

昭和41年、大阪箕面市つる家の調理部に入社、以来和歌山、熱海大観荘などを経て、昭和57年東京へ。日比谷割烹月山で調理長として腕をふるう。鬼怒川国際ホテルから、平成19年6月当会館勤務。

日本料理技能士のほか調理師指導員の資格を持つ努力家である。読書は実話物や推理小説など、作家では源氏鶏太、城山三郎など幅広い。一杯飲むと裕次郎や鶴田浩二などの演歌を自然と口ずさむ。富山の白エビは初めて食べたとか。富山の食材をいかに生かすか格闘の日が続く。

赤坂会館周辺には、歴史上に名を残す先人の足跡をしのぶ名所や歴史スポットが沢山あります。当館にお越しの際は、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

①南部坂(赤坂2丁目)

浅野内匠頭切腹の後に夫人揺泉院が引き取られたところである。浅野式部の赤坂下屋敷(現在の氷川神社境内)に大石内蔵助が雪の降る日に最後の暇乞いに参上した。歌舞伎等の「南部坂雪の別れ」で有名な坂である。



②鈴降り稲荷(赤坂5丁目)

元は、四谷の服部半蔵の伊賀組が江戸に祭った稲荷であるが、幾度かの火災や大震災を得て、氷川神社に合祀される。

今も一ツ木の横町は、鈴降り横町と呼ばれている。

一説には、家康が本能寺の変を知り大阪に戻る際伊賀のあたりで道に迷ったが、鈴の音に導かれ事なきを得たその名に由来する。

円通寺坂下の住宅の中の見つけにくい所があり、探しあてるのもなかなか楽しいものとか。



写真は鈴降り稲荷

③斎藤茂吉居住跡(南青山4丁目)

歌人で医者である斎藤茂吉の祖父が南青山に脳病院を建てた。ローマ式建築の本館は、全面ずらりと円柱が立ち並び、屋根には数個の尖塔と正面玄関の上に時計台がそびえ、一躍東京の新名所となるが、1924年、火事で焼失、茂吉は1927年院長となり青山脳病院の復興に力を尽くした。



茂吉は明治15年5月14日陸奥の山形生まれ。東京帝国医科大学を卒業、精神科医として長崎医専の教授を経てウイン、ミュンヘンへ留学、一方近代短歌史の上に輝かしい歴史を残し、万葉の歌聖柿本人麿の研究では心血を注ぐ。昭和26年文化勲章受章。「あかあかと一本の道通りたり霊剋(たまきわ)るわが命なり」の碑がある。

いきいき富山館の情報館催し物

富山のベンチャー企業新商品展

日時1月8日(火)～1月30日(水)
県内ベンチャー企業が生産するアイデアあふれる新商品「富山県トライアル発注商品」を展示2007年に認定した優れたアイデアを紹介。腰にやさしい椅子、海洋深層水と絹成分入り美肌石鹸、癒し系ぶらぶらトンボなど。

富山のおすすめ逸品が勢ぞろいしました
富山の新鮮もぞくぞく入荷!

- * 立山の賦 シヤリに古代米と県産コシヒカリネタにマスを使用した押し寿司1365円
- * 氷見地酒ケーキ 地酒「曙」の大吟醸を使った贅沢ケーキ、甘さ控え抜群の舌触り550円
- * 薬膳カレー 上市穴の谷名水と特産里芋を贅沢に使用 479円
- * 氷見牛カレー 自慢の氷見牛と野菜たっぷりの逸品 630円
- * 形状記憶昆布 昆布を水に戻すと「祝い」や「寿」などの文字が出現 10個525円
- * 氷見牛ハンバーグ 氷見牛100%使用、デミグラスソースもセット。3個1575円
- * 富山りんごのタルト 魚津の加積りんごを贅沢に使用
- * 鯛しゃぶセット 2人前10切れ4950円

いきいき富山館 千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館B1F
電話03-3213-1244



いきいき富山館 1月の物産展

- 1月5日(土)・6日(日) えび恋し
海老の香ばしさを包み込んだ、あっさりサラダ味の薄焼き煎餅。一度食べたら恋しくなる、味わい深い逸品です。840円
- 1月10日(木)～13日(日) 氷見牛ステーキ重
きれいな清水とハトムギを混ぜた飼料で育てた、極上の氷見牛を使用。1050円
- 1月18日(金)・19日(土) ほくほくおでん
かまぼこ屋が、新鮮な魚介を贅沢に練り込み作ったひと味違うおでんセット。600円
- 1月24日(木)～25日(金) お刺身デー
富山湾・氷見漁港直送のキトキトの魚を、その場でさばいてお刺身にして販売。鯛、ふくらぎ、甘海老など
- 1月26日(土)・28日(月) カニ押し寿司ほか
旬のカニをたっぷりのせた押し寿司と、人気の白エビ寿司の実演販売。カニ1600円、白エビ1500円

あとがき

昨年は3月の能登沖、7月には新潟中越とたて続けに大型地震発生、肝つぶれるやら復興などに大童...
一方、世界的な原油や穀物市場の高騰により我々市民生活直撃の事態発生、ガソリンや灯油等に加え大豆や小麦粉、マヨネーズなど食生活にもじわじわと影響が買い物レジ袋の有料化は環境に配慮したこともあるが石油の影響も無視出来ずでしょうか。

そんな暗いニュースが多い中、今年国内では洞爺湖サミットで環境の問題などをテーマに開催、世界では成長著しい中国で開催される北京オリンピックに期待と感動が集まります。

今年こそ政治経済の安定、災害や痛ましい事件のない穏やかな年となるよう祈りたいものです。

当会館にとっても、今年は飛躍の年となるよう一層のサービス向上と、おもてなしの心を忘れないよう、職員一丸となって頑張ります。

皆様のご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

冬籠りまた寄りそはんこの柱 芭蕉